

# 授業参観

4月22日(土)  
◇授業参観  
◇PTA 定期総会  
◇部活動保護者会

新宮音頭



## 学びの共同活動



## 平成29年4月22日(土) 授業参観保護者アンケート(感想)

- ◇前半の板書と説明の時間は、先生のお話のしかたなど淡々と感じ、小学校とは違うなーと思い少し不安になったのですが、後半にグループでの活動の時間は、子どもたちも先生もなごやかな空気になって楽しそうだったので安心しました。先生の授業の中でメリハリをきかせてくださっていると感じました。(1-1)
- ◇初めての中学参観。よかったです。机の向きがよかったですし、みんなで意見を出し合いよかったです。(1-1)
- ◇授業もみんなが静かに集中して取り組んでいて、グループ班活動も楽しいそうでした。(1-4)
- ◇班活動もあり、とても楽しそうにしていた。今までほとんど手を挙げることもなかったのに、発表していたので成長を感じました。(1-4)
- ◇皆落ち着いて授業を受けていて安心しました。授業も工夫されて、とても楽しく学習できており、見ていてもおもしろかったです。(1-4)
- ◇楽しくて分かりやすい授業でした。(1-4)
- ◇とてもわかりやすかったです。今後ともご指導お願い申し上げます。(1-4)
- ◇生徒たちも楽しそうで、わかりやすいと思いました。(1-4)
- ◇分からないことを教え合える授業スタイルで、わからなくても安心して学べるなーと感じました。(1-4)
- ◇とても楽しそうでした。わかりやすくおもしろい授業!!見ている方も一緒に楽しく学びました。(1-4)
- ◇みんな静かに落ち着いて授業を受けていてよいと思いました。グループでの活動があることも、とてもよいと思いました。(1-4)
- ◇授業も楽しく生徒たちも主体的に学習していたので、とてもよいと思いました。よろしく申し上げます。(1-4)
- ◇班で活発な意見が交わされていました。積極的に発言していました。(1-5)
- ◇子どもたちが集中して学習していると感じました。ありがとうございました。(1-5)
- ◇中学生らしく落ち着いた感じでよかったです。(1-5)
- ◇すっかり忘れていたことを思い出しました(笑)もう一度授業を受けたら東大に行けるかも…。(1-6) ◇トランプを使って正の数、負の数を学習している様子は、楽しさと学びが両立しており、生徒のやる気を引き出していると思いました。(1-7)
- ◇子どもたちの集中力が途切れることなく、解りやすい授業でした。(1-7)

## 平成29年4月22日（土） 授業参観保護者アンケート（感想）

- ◇中学になって初の参観で、皆とても活発に頑張っていると感じた。（1-8）
- ◇みんなとても楽しそうに授業を受けていました。（1-8）
- ◇身近なトランプを取り入れた計算は楽しそうでした。わかりやすいと思います。（1-8）
- ◇みんな楽しそうに授業を受けていたのが印象的でした。（1-8）
- ◇同じ班の子と協力し合いながら学習できていました。（1-8）
- ◇雰囲気もよく、先生の声も後ろまで聞こえて、皆楽しそうにトランプを使ったゲーム感覚の授業に参加していると思いました。ただ1つ残念だったのは、最後、時間が足りず、まとまりなく終わってしまったことです。少し過ぎても、全員理解できたのか、知りたいと思いました。先生と生徒のやりとりは、信頼できる間柄だったように思いました。終わり方が残念でした…。
- ◇午後だから「話し合ってもよい」と言われてもだれもしようとしていない感じに、子どもたちが疲れているのかな、皆が授業の意味（家庭について）を理解していないのかな？と感じました。参観アンケートは記名なしでないと気持ちを伝えにくいと思います。（1-9）
- ◇今日の授業をきっかけに家庭での自分の仕事（役割分担）を積極的にしてくれるようになってくれたらいいと思います。（1-9）
- ◇小学生と違って中学校の体育は緊張感がありました。普段はもう少し厳しいと聞きましたが、厳しさの中で、いろいろと成長できることがあると思うのでよいと思います。（1-9）
- ◇とてもきびきび行動していて、素晴らしいと思いました。また、3年生や2年生が1年生の手本となり、面倒も見てくれていて安心しました。（1-10）
- ◇話し合いながら、授業を進めている等工夫のある内容だと思った。（2-1）
- ◇我々の時代の授業は、先生の話を受けるのみでしたが、生徒同士のやり取りを行っており、身に着くと感じました。（2-1）
- ◇眠くなりがちな午後の授業だが、班での話合いや役割があって、全員参加型の集中して取り組んでいたのも、素晴らしいと思いました。後ろの掲示板もよかったです。（2-2）
- ◇粘土を使って、とてもわかりやすく色づくりを説明されていました。子どもたちも手を使ってとても楽しそうにしていました。（2-3）

## 平成29年4月22日(土) 授業参観保護者アンケート(感想)

- ◇とても礼儀正しく、感心しました。(2-4) ◇班の人数もほどよく、どの子も積極的に実験に参加できているように感じました。(2-6)
- ◇グループ学習で協力できていたと思います。次の時間にまとめるということでしたので、しっかりグループでまとめられたか確認したいと思います。(2-6)
- ◇とてもわかりやすく授業されていたと思います。1年間よろしくお願い致します。(2-8)
- ◇先生の声が大きく、ハキハキした話し方で聞きやすい! 問いかけが頻回で(生徒とのやり取りが中心で)受け身にならずとてもよかったです。(2-8)
- ◇先生の説明が聴き易く、分かりやすく、とてもよかったです。最後の方は緊張もほぐれた様で、皆賑やかに伸び伸びと学習していたのでよかったです。(2-9)
- ◇スピード早すぎず、グループで話し合いをしながら、答えをまとめてゆくとてもよい授業でした。わかりやすかったです。(3-1)
- ◇数学の楽しさが分かるよい授業でした。(3-2)
- ◇先生の声も大きく聞き取りやすく、楽しい授業でした。私もこの様な授業を受けたかったです。そうすれば、数学も嫌いにならなかつたかも…。(3-2)
- ◇わきあいあいとしていて、授業内容も分かりやすくよいと思いました。
- ◇どれもとてもすばらしい詩でした。(3-5)
- ◇体育の参観は新鮮でした。(3-6)
- ◇クラス替えから間があまりなく活気は感じられなかったが、皆真剣に授業に取り組んでいたと思います。(3-7)
- ◇席順があれば、友だちの顔とかが見れて、仲がいい子の顔がわかっていいのになと思いました。(廊下に貼り出すとか)(3-7)
- ◇参観日は、担任の授業が見たい。(3-8)
- ◇新宮音頭は指先にもっと力を入れてそろえて伸ばしたら、きれいに見えると思います。(3-9)
- ◇ラジオ体操のような規律正しい運動をしっかりと身につけることができている素晴らしいと思いました。みんなそろっていて本当に美しかったです。(3-9) **保護者の皆様ご参観ありがとうございました。**

福岡県教育センターで研修中の川崎美枝子教諭が、第2学年4組で道徳の授業を行いました。



### 考え・議論する道徳

「捨てる、捨てない、そして拾う」という資料をもとに、自分の規範意識に従い、自分の考えや行動を見つめ直す授業でした。

生徒1人ひとりが自分の行動を振り返り、友人と議論する姿が見られました。



平成29年5月25日 木曜日 2校時

# 第3学年7組社会科授業デザイン「現代の日本と世界」(河野徹主幹教諭)

6月19日(月)



自分の思いを、根拠をもとに皆にしっかりと伝える(自己存在感・決定の場)

「太平洋戦争を止めることができる」とすればどこだったか、自分の考えをまとめよう」のめあてから、生徒一人ひとりが、自分の思いの根拠を明確にし、班で意見交流しながら発表原稿を作成する。一人ひとりが全体の前で発表を行い、友だちの意見を聞くことで、生徒の思考が「～さんの意見を聞いて考えが変わりました。」とか「～くんの意見で～すれがばいいと思った」など再構築されていきました。生徒一人ひとりが思考・判断し、考えをまとめる『深い学び』、また生徒全員が主役の授業でした。



友達の意見をしっかりと聞き、考えを再構築する(共感的人間関係・深い学び)

# 道徳の目（初任者研修）



6月19日(月)



- ◇「わたしの生き方」第3学年8組 岡住 悠二教諭
- ◇「歌の世界で太陽になりたい」第2学年6組 井手 愛美教諭
- ◇「涼風」第1学年2組 森奥 順教諭



# ブロック研

6月22日(木)

◇青ブロック授業研 山本睦子教諭(英語科) 2年2組

◇黄ブロック授業研 米森直人教諭(数学科) 3年7組

◇緑ブロック授業研 白石勝己教諭(理科) 2年9組 第1理科室



「学びの共同活動」を充実発展させるため、全教師、全教科で授業研修を充実させ、ブロック教師、教科部を交えてのブロック公開授業(授業協議会)を行っています。教師も生徒同様、4ブロックに分かれています。今回は3ブロックのみ(赤ブロックは次回実施します)


## < 協議会の視点 >

視点A: 課題に対する発言や発表、表情やうなずき、取り組みの様子など五体から表出するものから主眼の達成度と、見方・考え方を活用するジャンプの課題やジャンプの課題の位置づけ、その成果、課題、今後の改善点を中心に話し合う。

視点B: 観察報告や生徒の学習プリント、自己評価等からまとめる段階の生徒が見方や考えの深まりを実感する「まとめ」の改善、その成果、課題、今後の改善点について話し合う。







## 地域の文化を受け継ぐために 大切なことは何か

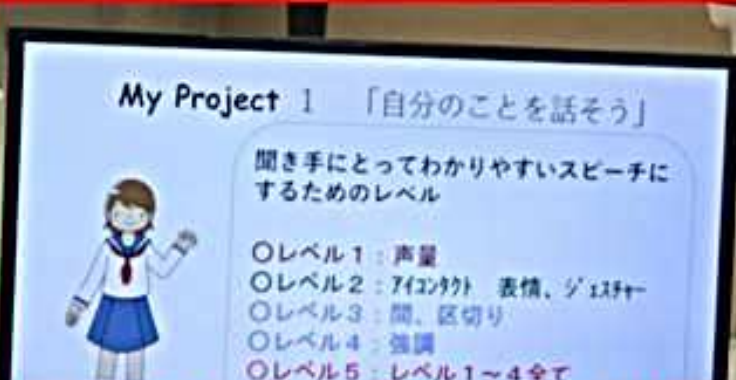
新宮中の伝統行事「砂の芸術」に関わった人たちの思いは、30年の時を越えても、私たちと変わらぬ思いであることを、みんなで考えました。

福岡県教育センターで研修中の川崎美枝子教諭。今回は第2学年6組で道徳授業を行いました。

平成29年7月18日 火曜日 3校時



POINT 1: モデルスピーチから、わかりやすいスピーチのポイントをさぐる



POINT 2: レベル設定で、一人ひとりが目標設定と意欲喚起



POINT 3: スピーチの間や強調、ジェスチャーなどを記号化



「ジェスチャーがあったよね」  
「間をあけて話してたよね」

**土器教諭 英語公開授業**

**TODAY'S GOAL**

聞き手にわかりやすくスピーチするポイントをさぐり、  
ポイントをもとに自分の目標を設定し、目標をクリアしよう



「これで"13years old"はどう？」  
「それ、いいじゃない？」



笑顔を意識してスピーチ



間を意識してスピーチ



ジェスチャーを加えてスピーチ

# 8月1日(火)第1回主題研究研修会

「中間報告会に向けて」

～見方・考え方、ジャンプの課題、まとめの在り方について～

講師 福岡教育事務所 村上暢崇 指導主事



# 第3学年7組英語科授業デザイン（塚本亜衣子教諭） 「Lesson4 The Story of Sadako」

9月8日(金)



カギとなる  
単語の意  
味を知ろう



結局、貞  
子さんは  
リレー走っ  
たの？



内容を上手に  
イラストに描  
けているね



この段落はど  
んなイラストに  
なった？



こんなイラストになっ  
たよ



もう少しじっ  
くり読んでイ  
ラストを描き  
たいなあ



- ◆文章の概要をとらえるために段落ごとにイラストを描き必要な情報を映像化
- ◆英語を聞いたり読んだりすることを通して筆者の最も伝えたいことの要点をとらえるといった見方・考え方を使っ  
て解決するジャンプの課題
- ◆「共通性」「差異性」から互惠関係のある学びの共同活動



# 職員研修(体罰防止研修) 9月12日(火)



本日の職員研修では、体罰防止についての研修を行いました。まず、資料の体罰の事例をもとに、各自で体罰防止のための対応策を考えました。先生方からは「日頃から授業規律をしっかりと行う」「感情のコントロールをする」「子どもの人権を考える」「家族の未来」「生徒理解を深める」「コーチング」などの多くの意見が発表されました。次に、グループで交流し「新たな気づき」を追加していきました。

まとめに、教頭から体罰防止のために「アンガーマネジメント」では、「6秒間の深呼吸で心が落ち着くという科学的なデータがある」という話がありました。

最後に校長先生から、「日頃から自分の性格を知ることが大事だと思う」「短所や長所など自己理解を深めることが大切ではないか」という話がありました。

平成29年度

9月19日(火)

# 糟屋地区小・中学校教科等研究会一斉授業研究会

「文字式を利用して、1レーンと2レーンの走る距離を求め、スタート位置について説明しよう」



1年1組 古賀智美 先生

- ◆ 本日、糟屋区内の小・中学校で各教科・会場に分かれて、一斉授業研究会が開催されました。
- ◆ 新宮中では、数学科研究会が行われました。
- ◆ 1学年1組と3組で(1)数と式「文字式」の比較授業を行いました。
- ◆ 授業後、研修部による教科内熟議がなされました。

「長方形の厚紙を使って、ものがたくさん入る容器をつくろう」



1年3組 大川内健太 先生



直線と円周に着目しました



こんな文字式になると思うよ



熟議【視点Ⅰ】本時の学習形態について「対話的な学びが有効であったか？」  
 【視点Ⅱ】単元の目標について「簡単・明瞭・一般的な授業であったか？」



どちらの容器が大きいと思う？



そんな考え方もあるんだね



# 堀川隆司先生（技術・家庭科）教職経験5年経過教員研修会

【めあて】場面や状況に応じた照明器具の選択を考えよう

平成29年9月20日(水)3校時

## 本時の授業の流れ(50分)

- ①本時のめあて・学習課題をつかむ(5分)
- ②学習課題をさぐる
  - (1)互いの板書をさぐる(3分)
  - (2)互いの板書に必要なものを書きこむ(7分)
- ③追加条件から考えさらに深める
  - (1)グループで交流する(25分)
  - (2)発表する(5分)
- ④自分の考えを発表し、振り返る(5分)



授業の見通しがもてる工夫



「さぐる」照明器具の特性や違いに着目



「ふかめる」追加条件から交流を深めさせる



「ふかめる」社会的・環境的・経済的側面を根拠に意見交流



これの方が電気代が安いやん



10年以上使えると思うよ



あれの方が清潔感があるよ



みんなが納得のいく意見を考えよう



「ふかめる」班で選択した照明器具の根拠を発表

白熱電球の方が・・・



LEDの方が・・・



「まとめ」生徒の意見から最適な選択についてのまとめ

【板書計画】\_構造化された板書の工夫



# 9月21日(木) 5校時 第3学年5組 理科授業研 安部徳之先生

予 想

町内4ヶ所のどこの土の中に小動物が多いかを理由とともに予測する。

中庭の花壇   シーオーレ   恵比寿神社 (新宮海岸)   六所神社 (立花山)

ハンドソーティングで土の中の生態系を調べよう

予想する



予 想

町内4ヶ所のどこの土の中に小動物が多いかを理由とともに予測する。

調べる

結果を知る



調べる

結果を知る

発表をもとにまとめる



発表をもとにまとめる

交流する

発表する

小動物が多い理由を考え交流する。



交流する

発表する

小動物が多い理由を考え交流する。

発表する

土の中には、落ち葉や枯れ枝などを始まりとする食物連鎖がある。



発表する

土の中には、落ち葉や枯れ枝などを始まりとする食物連鎖がある。



# 新宮町小・中学校 特別支援教育支援員 学習支援員 合同研修会(第2回)

平成29年9月21日(木)



**5校時 1年10組 英語科(TT)授業参観**  
授業者: 吉田歩教諭、古賀美保子学習支援員)



**6校時 研究協議**

平成29年10月3日(火)

# 福岡県重点課題研究指定・委嘱事業 中間報告会



福岡県重点課題Ⅰ「主体的・対話的で深い学びを重視した授業づくり」研究指定・委嘱事業の中間報告会(2年次)が開催されました。

本校は、新宮町教育委員会の研究主題「見方・考え方を働かせて学びをつなぐ児童生徒を育てる教育活動」を創造するため、副主題を「深い学びを生む主題設定の工夫・改善を通して」とし、研究と授業実践を進めています。

中間報告会では全教科、道徳、特別支援の授業公開、本校の研究構想についての説明、福岡教育事務所主任指導主事の折居邦成先生の講演が行われました。



# 道徳の時間

平成29年11月16日 3校時 2年4組にて

福岡県教育センターで研修中の川崎美枝子先生。

今回は、『おじいさんの贈り物』という教材から、相手の考えを理解するためにどんなことが大切なのかを学級で考えてみました。



合唱コンクールに向けて、練習中の学級でよく見られる情景が、自分たちの体験と重なり、登場人物の考えや立場をより深く考えることができた対話活動でした。

さらに、12月の修学旅行に結びつけ、お互いの考え方の違いをグループで理解し合ったことは、これからの取組にもはずみになる時間となりました。



# ブロック研

緑ブロック～ 櫻木靖子教諭(国語科)  
平成29年11月16日(木)4校時 1年10組教室

3つのグラフから読み取った事実をもとに、自分の考えをまとめます。  
提示された資料「生徒の睡眠に関するアンケート」結果から、どんなことが考えられるでしょうか。



(視点)  
自分の考えを説明するためには、読み取った事実と事実、事実と自分の考えたことが関連づいていないと、うまく説明できません。



なんて説明したらいいんだろう...

これってどう説明する?

この考えって  
いっしょじゃない?

このグラフとこのグラフで  
何が考えられる?



①就寝は、1年生は10時台、2・3年生は11時台が多い。  
②就寝時間が遅い理由は、塾や宿以外にスマホが多い。  
以上の事実から、**スマホの時間を減らせば睡眠時間が増える**と思いました。

①就寝は、1年生は10時台、2・3年生は11時台が多い。  
②睡眠不足を時々感じる人は、**全学年とも多い**。  
以上の事実から、**就寝時間が遅く睡眠時間が短い人が睡眠不足を感じている**と考えられます。

# 校内授業研 社会科 『私たちの暮らしと経済』 授業者：河野 徹 主幹教諭

めあて「コンビニが売上向上に行っている工夫を考えよう」



平成29年12月4日(月)3校時

## 【参観者の感想】

- ◇課題自体が生徒の生活にかかわる身近なものだったので、主体的に取り組んでいたと思われる。全体での交流の中で、先生がさらに追加の情報や生徒に考えさせる発問がされていて、あの場面で学びがさらに深まっているように思った。教師の教材研究が大事だと思った。
- ◇生徒が楽しくワクワクしながら学んでいることがとても伝わりました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ◇キーワードを与えて、本時のまとめを生徒にさせるということがとてもいいなと思いました。入試対策としても効果的です。
- ◇身近なコンビニエンスストアが行っている工夫の意義について多面的、多角的に考えるという見方・考え方を働かせる社会科の授業の在り方がイメージできました。でも、やはり一番は先生のトークとパワー！こちらも元気をもらえました。ありがとうございました。
- ◇あいかわらず、生徒を引き上げる軽快なトークであっという間に集中できる環境づくりはさすがです。生徒からの発言を引き出す「間」はぜひマネしたいですが、難しいです。まとめのつくり方、資料の精選、とても勉強になります。3年の経済の授業をもっと見せて頂きたいです。



教師と生徒との一体感のある授業空間から、河野先生の日頃の教材研究、生徒理解、授業規律の充実が感じ取れました。



「視力とランドルト環の大きさの関係を表や式を使って説明しよう」

視力検査で使われているランドルト環を用いて、視力とランドルト環の関係を「 $y=1.5/x$ 」の反比例にあることを表そうとする学習活動。表から数式を導く過程で、グループ内で互恵関係が生まれています。

## 校内授業研

平成29年12月13日(水)

2校時: 第1学年4組 筒井祐樹先生(数学)

4校時: 第3学年3組 梅津亜弓先生(国語)

「ニュース記事を比較し、表現の違いについて考えよう」

同じ出来事を取り扱った複数の新聞記事を比較し、書き手の立場や視点による表現の違いを読み取る学習活動。読み取った内容から共通性を考えたり、連想される見出しを考えたりしながら表現の違いを追究しました。



# 福岡県とびうめ教育表彰式

平成30年1月5日(金)福岡県庁3階講堂



この表彰式は、福岡県公立学校及び福岡県立学校教職員の優れた教育活動に対し、その功績をたたえ表彰されるものです。

新宮中学校が優秀校として表彰されました。

**祝 優秀校 表彰**



これは、生徒・保護者・地域の皆さん、先生方の頑張りで受賞できたものです。

また、学校教育部門「福岡教育論文」において、杉光知子教諭(3年6組担任・家庭科)が奨励賞を受賞しました。

**祝 奨励賞 表彰**



# 初任者研修授業研究会

平成30年1月17日(水) 1校時  
2年6組 特別活動

授業者：井手愛美教諭（美術科）

題材

「学級の実態を振り返り、メリハリをつけて  
授業に集中するための取組を決定しよう」



## 【指導のねらい】

課題解決の取り組みを考  
える活動を通して、生徒  
一人ひとりが「学級の  
一員」として、自主的に取  
組む姿勢を高め、自発的  
自治的な活動を進めるこ  
とができるようになる。

①事前の打ち合わせが密に行われていたので、生徒だけの力で学級会が進行されていました。②ICT機器の活用により、アンケート結果や学級の実態など、学級の現状をみんなで把握しやすい環境が整っていました。③生徒には個人で考える時間が十分に与えられ、班内討議では、どの生徒も自分の考えを出していました。④今後、何度か経験を積むことで、学級で(生徒たちの間で)、お互いの考えをさらに深め、より具体的・効果的な案が生み出すことができるような期待感が持てた活動でした。



# 初任者研修授業研究会

平成30年1月23日(火) 1校時  
1年2組 特別活動

## 題材

「学級目標の到達に向けて、  
学習面の今後の取組を考えよう」

授業者：森奥純教諭（技術家庭科）

【指導のねらい】  
学級目標に関するクラスの課題について考え、課題解決の取り組み内容の決定や実践を通して、学級への所属意識や連帯感を高め、生徒の自発的、自主的な活動を進める。



- ①意見を出し合える温かい雰囲気・・・生徒たちの聞く姿勢や表情、拍手など、学級に支持的風土があり、意見や本音が出しやすい環境ができていました。
- ②本音や反論、活発な議論が展開・・・相手の本音を受け入れながら自分の考え（受容や反論）を伝えるアサーティブな関係ができていました。さらに、議長団の進め方、まとめ方が素晴らしかったです。
- ③担任の効果的な言葉かけ、助言・・・先生がところどころで行った発問や助言が、生徒の考えを深めていくよいきっかけを生み出していました。

# 校内授業研 平成30年1月26日(金) 2校時 第2学年7組 授業者：大津由樹先生(保健体育科)

めあて：呼吸法や走法を考え、自己ベスト記録を出そう。(長距離走)

極寒のグラウンド。生徒は大津先生の説明を熱心に聞いていました。黒板がないので、板を使った臨時のものです。次に自分で自己記録のための作戦を考え、ペアと目標タイムを共有して、作戦を立てていました。この姿が、とても親和的でした。



いよいよスタート。ペアの生徒(男女ペア)が一生懸命声をかけます「3秒遅れているよ。がんばれ～」  
結果は・・・多くの生徒が自己ベスト記録を更新。まとめにペアからの温かいメッセージ。こんな素敵なことが毎時間起きているなんて知りませんでした。厳しい中にも心が温くなる授業でした。

# 第3回 ブロック研修会

平成30年1月25日(木)

【緑ブロック】藤岡優治教諭(社会科)

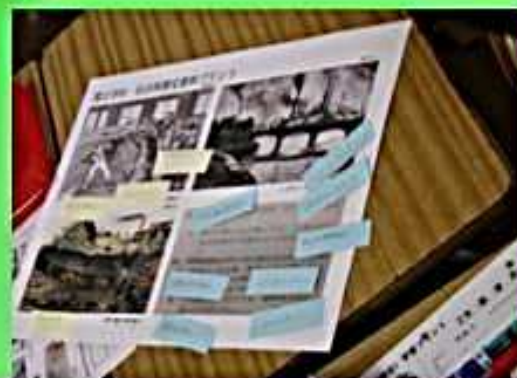
3校時 2年9組教室



科学の発展は、人々の生活や社会にどんな影響を与えたのか説明しよう

【主眼】

資料をもとに産業革命がもたらした社会の変化を多面的・多角的に考察し説明することができる。



産業革命がもたらした社会変化について、生徒たちは、精選された資料を活用して多面的・多角的に考察していました。また、論理的に説明できるように、付箋紙を活用してキーワードを出し合い、自分の考えを説明するための有効な語句をグループの話し合い活動の中で見つけ出し付加・修正していました。本単元に活用したツールの工夫が、生徒の深い学びを生み出す有効な手立てとして参考になりました。

# 第3回 ブロック研修会

平成30年1月25日(木)

【青ブロック】平田健一教諭(数学科)

4校時 3年2組教室



三平方の定理を使って、「和算」の中の円の半径を求める方法を見つけよう。

## 【主眼】

三平方の定理(西洋数学)を用いて、積極的に算額の絵(和算)の円の半径を求めようとしている。



直線と2つの大中の円が接している『和算』の問題を、三平方の定理を使って解決する学習でした。ジャンプの問題では、大中の円の間小さな円が加わり、生徒達は頭を悩ませていました。グループで図の中にさまざまな補助線を入れながら、直角三角形を見出そうとがんばりました。意欲的に課題に取り組む姿が、すばらしかったです。

# 第3回 ブロック研修会

平成30年1月25日(木)

【赤ブロック】村上智美教諭(数学科)

5校時 2年4組教室

多角形の面積を変えずに、形を変形しよう

【主眼】

三角形に注目し平行線を活用することで、多角形の面積を変えずに形を目的に応じて的確に変形することができる。



「平行線と面積」の学習内容で、前時に多角形の等積変形により三角形に変形することを学びました。それを生かし、本時は凹んだ多角形も三角形にできるかという問題に取り組みました。ジャンプの課題で、見通しをもつことが難しいようでしたが、熱心に課題に取り組み、作図することができていました。お疲れさまでした。

# 校内授業研 平成30年1月30日(火) 2校時 第2学年4組

授業者：徳永 義幸 先生 (英語科)

めあて：理由をつけて2つの人やものを比べた結果を説明できるようになろう。(目標：個人性)



英語と数学のどちらが難しいかまでは、自分で考えて文を作ることができました。しかし、その理由を書く場面でははつきりとした理由が見つからず、友達同士で意見交流し、文の作成に入りました。



人気の職業ランキング(男子・女子の5位まで)をみて、more + 形容詞の使い方を練習しました。実際のアンケート結果だったので関心をもって意欲的に取り組むことができました。



リズムにあわせて単語を覚えたり、職業ランキングをみて、more + 比較級を使った英文を言ってみるなど楽しく学習していました。「英語と数学のどちらが難しいか」をmore + 形容詞を使った文と、その理由を説明する文を作成する活動では、どのように書けば英語(または数学)が難しい理由が相手に伝わるか、ペアで話し合ったあと発表しあいました。

# 校内授業研 平成30年1月30日(火) 2校時 第1学年8組

授業者：矢野 英二 先生 (理科)

めあて：全身が映る鏡の大きさを調べてみよう。(目標：同一性)

鏡の中の像の位置を確認して、物体から出た光が観察者に届く道筋を考える。次に規則性をもとに全身が映る鏡の大きさについて考える。実体験がありそうでない課題で、生徒全員が考え、班での話し合いでも、自分の考えをよく発言していた。



穏やかな雰囲気が出ている授業で、生徒たちも和気あいあいと楽しそうに参加していた。たくさんの資料が準備され、一つひとつ丁寧に解説されており、生徒のつまずきも少なく次の課題にスムーズに進むことができていた。日頃の丁寧な対応によって、穏やかな授業づくり、雰囲気づくりになっていると感じた。

# 校内授業研 平成30年1月30日(火) 5校時 第1学年4組

授業者：伊藤誠先生(保健体育科)

めあて：仲間のよい動きを見つけて、練習に取り組もう。(目標：個人性)



活動する場(グループの活動場所の明確化)や教材・教具(難易度別の三段階のコースカード、学習ノート、模範演技ビデオ等)の工夫がなされていて、生徒の意欲的な活動につながる様々な手立てが仕込まれていました。生徒は、準備・補強運動から練習まで休むことなくしっかりと運動量が確保されていました。その中で、仲間と協力しながら練習し、補助やアドバイスをする姿が見られました。楽しい雰囲気の中にも、聴く・話す姿勢、集合・解散の機敏な行動等、メリハリのある授業が行われていました。



# 校内授業研 平成30年1月31日(水) 2校時 第1学年3組

授業者：野田 朋子 先生 (理科)

めあて：鏡の中の自分の身長を求める方法をさぐろう。〔目標：同一性〕



身近にあるものを使って、身近に起こる物理現象のしくみを体感していた生徒の姿に、先生の教材観、生徒観の素晴らしさを改めて実感しました。反射の法則を説明できたときの生徒のあの笑顔。鏡を使った授業だけに、生徒たちは、まさに野田先生が繰り出す「マジック」に引き込まれていった、とても楽しい授業でした。

# 校内授業研 平成30年2月1日(木) 2校時 第1学年8組

授業者：本屋敷友佳先生(社会科)

めあて：これまでの学習を生かして遣唐使の停止を追求しよう。(目標：同一性)



文化の国風化が進展した平安時代。その歴史的流れを踏まえながら、遣唐使の停止に至った理由(菅原道真の本意)を考える演習課題に、生徒は探求心をかき立てられ、論理的に導き出そうと資料を一生懸命分析していました。



資料に基づき論理的に思考・判断し、表現する力は、社会科で生徒に身に付けさせたい重要なスキル。論理的な思考力を高めるため、資料の精選、工夫が施され、生徒に高い関心意欲を引き出させていました。生徒にとって、ロジック的な思考の組立は難しいところではあるものの、鋭い視点で、資料から論拠を見出し、自分の主張を深めていこうとする生徒たちの様子に、彼らの確実なスキルアップを感じることができました。

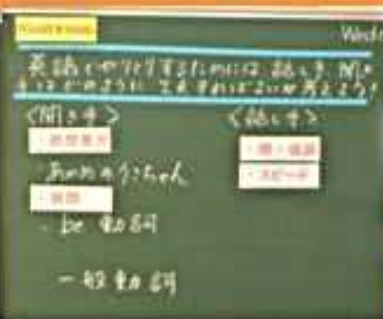
# 校内授業研 平成30年2月7日(水) 4校時 第1学年4組

## 授業者：土器恵理先生(英語科)

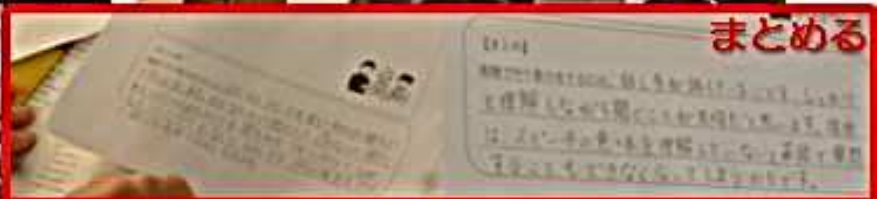
めあて：英語でコミュニケーションを図るために、話し手、聞き手おどのように工夫すればよいか考えよう。(目標：個人性)



聞き手を惹きつける話し方に生徒の工夫がたくさん見られました。写真を多用したりプレゼンソフトを使ったりする生徒、話し方、表情、ジェスチャーを効果的に交える生徒など、個性にあふれていました。聞き手もしっかり話し手に注目し、好印象な対話的關係が成り立っていました。



▲ 生徒の学ぶ意欲を高め、自らのまどめに導く効果的な手立て



学習活動の中には、学びの中で「生徒の気づき」が多く生み出されるように効果的な手立てが随所に見られました。「つかむ段階」でのモデル映像や「さぐる段階」でのポイントを整理するツール(カードや付箋紙)、聞き手のシミュレーションなどの手立てによって、生徒たちは話すときのポイントや聞かときのポイントに気づくことができました。「ふかめる段階」では、自ら気づいたポイントを生かしながら実践を行い、さらに学びを深めていくことができました。「まとめる段階」で、自らの気づきをもとに、自分のことばでまとめていく生徒の様子から、学習上の手立ての数々が非常に有効であったことを感じました。

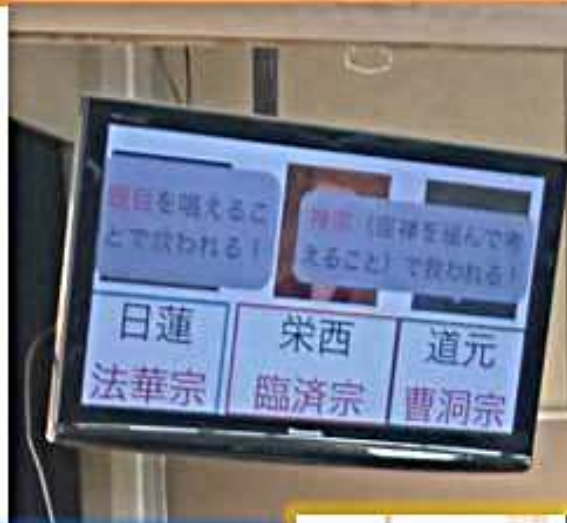
# 校内授業研 平成30年2月8日(木) 2校時 第1学年6組

授業者：村中竜一先生(社会科)

めあて：鎌倉仏教の教えがなぜ多くの人に広まったのか考えよう。〔目標：同一性〕



資料のどこに着目していけばいいのか戸惑っていた生徒に対し、ヒントとなる導き方を気づいた生徒が発表すると、グループでの話し合い活動が活発になりました。生徒の気づきを生徒の中で戻したことによって生まれた、リズム感ある学習活動でした。



つかむ段階でプレゼン資料から平安仏教のキーワード「教養・厳しい修行・金銭」を出させ、鎌倉仏教がなぜ多くの人に広まったのかという「めあて」の提示を行いました。さぐる段階では教科書から鎌倉仏教について調べさせ、ふかめる段階では、「特徴に注目・当時の社会」というポイントを明示し、資料から平安仏教と鎌倉仏教の違いについて班で交流し、考えを深めました。まとめ段階では、「当時の社会・難しい条件・簡単」というキーワードから授業の振り返りを行いました。キーワードをもとに、自分の考えをまとめた生徒の素晴らしさとともに、リズム感があり、生徒の良さを引き出す村中先生の授業技術の高さを感じました。

# 校内授業研 平成30年2月9日(金) 3校時 第2学年8組 授業者：石橋京子先生(国語科)

めあて：メロスにとっての敵を二つに分け、メロスの人物像を捉えよう(目標：多様性)



『走れメロス』で、メロスの心理を揺さぶり葛藤させた「濁流」「山賊」「自分自身」をメロスにとっての「敵」として二つに分けて、その理由を、文章中の言葉を手がかり(論拠)に、考えたことをグループ内でもうし合いました。そうすると、分けた結果やその理由に一人ひとりの違いが見られ、同じ物語を読んでいる、読む人が描くメロスの人物像は多様であることを感じているようでした。



多くの人々に読み親しまれてきた『走れメロス』。しかし、主人公のメロスの心の葛藤をどのように捉えるかによって、勇敢な青年像を描く生徒がいる一方で、人間の弱さを持ち共感できる(応援したい)青年像、さらには、勇者とはほど遠い弱々しさを禁じ得ない青年像だったり、見方が変わると人物像に様々な違いが生まれていることを、生徒たちは実感していました。自分だけの読み物としてではなく、他の人と意見を交流したことで、また違った「メロス」像を持ってこの後の学習に取り組むことができそうです。今後のさらに深い学びに期待が持てる学習活動でした。

# 校内授業研

平成30年2月9日（金）2校時 第1学年10組  
授業者：出原舞先生（技術・家庭科）

めあて：どうしたら、日本の食料自給率が向上するか考えよう。（目標：個人性）



今までの授業内容や資料をもとに どうすれば日本の食糧自給率が向上するかを個人で考えた後、グループで話し合いました。様々な視点から熱心に話し合いました。



授業の様子：つかむ段階で、日本の食糧事情について学習した内容をふり返り、本時のめあてをつかみました。さぐる段階では教科書からや資料から、食料自給率、フードマイル・地産地消をキーワードに自給率を向上させるための自分の考えをまとめ、ふかめる段階では、個人で考えた内容をもとに、グループで交流し考えを深めました。生徒の考えの視点が広範囲にわたっていたので、考えを深めると同時に広げることができました。まとめる段階では、「フードマイル・地産地消」をキーワードにし、つかむ段階で考えた自分の考えを見直し、まとめました。生徒の豊かな発想や多岐にわたる視点に生徒の素晴らしさを感じました。

# 校内授業研 平成30年2月14日(水) 1校時 第3学年5組

## 授業者：安部徳之先生(理科)

めあて：硫酸と水酸化バリウムの反応で、変化する電流の大きさを調べよう。〔目標：同一性〕



硫酸と水酸化バリウムの中和反応と流れる電流の大きさの変化に着目し、中和が進むほど、電流が弱くなっていくと予想した生徒たち。ところが、予想通りに電流が変化するグループと変化しないグループに分かれてしまう事態が発生。予想通りにいかなかったグループは、どうしたらうまくいくのか話し合い試行錯誤していました。これも実験のおもしろさ。失敗して得られる成果も、生徒たちには深い学びです。



結果が割れた!! この違いの原因は?



発展的な内容で、実験結果のようになる理由を、既習の知識や理論を用いて考え、説明するという学習活動でした。3年生らしく、落ち着いてテキパキ効率よく実験をしていました。この学習にあたり、安部先生は実験器具やプリント等の準備に大変時間をかけられていました。

# 校内授業研 平成30年2月16日(金) 3校時 第3学年2組 授業者：川島英人先生(社会科)

めあて：世界の難民問題について、日本の支援の在り方を考えよう。〔目標：個人性〕



「理想」と「現実」、「日本の内情」と「国際社会での日本の立場」、日本の「現在」と「将来」などを多面的に考えなければならぬ難しい課題でしたが、意欲的に、真剣に考え、意見の交流をしていました。



○つかむ段階で、難民問題について画像提示したことで、生徒の興味や探求への意欲が高まっていました。○授業の中で使われた資料は最新で、質、量ともに充実しており、提示するタイミングも絶妙でした。○常に複雑に変化する国際情勢を捉えながら、生徒の実態にあった教材(資料)をつくることはとても大変だったと思いますが、生徒の積極的な学習活動、まとめる段階までの生徒たちの深い学びに繋がっていました。社会科の授業は「資料が命」ですね。○何より川島先生の話し方がやわらかで、穏やかで、説明や発問もとてもわかりやすい。だからこそ、生徒たちがじっくり考え、しっかり意見を言える雰囲気になるのでしょう。



# KASUYA Standard 30

H30.1-

新宮町立新宮中学校

「学力向上を推進する「KASUYA」の教師の取組」

優れた人権感覚を発揮し、新宮町の未来の創り手となる「志」をもつ生徒の育成

「KASUYA」全体で育成を目指す資質・能力

「学びに向かう力・人間性等」の涵養

「知識及び技能」の習得

「思考力・判断力・表現力等」の育成

【KASUYAの全ての中学校の学力向上の取組】

## 「授業改善」

KASUYA standard Keyword KASUYA standard Keyword KASUYA standard Keyword KASUYA standard Keyword

【「授業改善の具体的方策」】

主題研究の充実と授業公開

学力向上のためのカリキュラム・マネジメント

学力向上検証改善サイクルの確立

指導の基盤

(これまでの「KASUYA Standard」の蓄積)

いじめ・不登校を未然防止する教育課程の工夫

いじめ・不登校の未然防止に向けた学校生活実態調査の活用

ユニバーサルデザインの学習環境・授業づくり

生徒会活動を中心とした特別活動の充実

学力向上・体力向上を目指す生徒指導の取組

自己肯定感を高める「交流活動・話し合い活動」の充実

学力・体力向上に向けた全国学力テスト等の活用

自己有用感を味わえる授業づくり





## 町内の学校や先生が表彰されました

県公立学校・県公立教職員表彰

県公立学校および県公立教職員の優れた教育活動に対して、その努力をたたえ、町内の学校や先生が表彰されました。特に、平成31年度の新設中学校への分離を控えた新宮中学校にとっては、大規模校としての豊かな教育活動に対する「優秀校表彰」の受賞は、生徒にとっても今後の大きな励みとなりました。

受賞した先生は、「地域や保護者のみなさん、何より子どもたちのがんばりのおかげでいただいた賞だと考えています。これからも、子どもたちのためにがんばっていききたい」と決意を新たにしていました。

- 平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰  
平成29年度福岡県公立学校優秀教職員表彰  
新宮北小学校 主幹教諭 田邊祥一先生



▲長崎町長・宮川教育長への受賞報告

- 平成29年度福岡県公立学校優秀校表彰  
新宮中学校
- 平成29年度「ふくおか教育論文」奨励賞  
新宮中学校 教諭 杉光知子先生